

ありがとう

Love your neighbor as yourself.

隣人を汝自身のごとく愛せ

20周年記念には皆様からたくさんの心あたたまるメッセージをいただいております。

この機会に久しぶりに文を書いた方、パソコンに向かって悪戦苦闘の方、

書きながら、読み返しながら涙をこぼしたあなた…。

どれもこれもギッシリと思いが詰まった「心」が文字になった作品ばかりです。

親子の愛情、選手の決意、心情…

どれがお気に入りですか？

「どの子もうちの子」

それぞれの愛を感じてください。

Love begets love.

愛は愛を生む

卒業生のみなさんから

荒井 康弘(3期生)

西武台千葉バドミントン部創部 20 周年おめでとうございます。3 期主将を務めさせていただきました。荒井康弘と申します。この度は、輝かしい伝統を作り上げた関係者の皆様に対して、深く感謝申し上げます。

我々現役時代には、今のような練習する環境が整備されておらず、毎日、ネットをヒモで代用していた時代であります。そんな時代でも、チームワークと不屈の闘志で幾多の試練を乗り越えてやってきました。後輩達は、県内、いや全国で素晴らしい結果を収めていらっしゃる。その姿をホームページで度々見るたびに勇気づけられます。

当時は、バドミントン部なのか陸上部なのか分からない程の走りこみの毎日でした。シャトルも羽がほとんどなく、コルクのみになっても捨てられず、毎日毎日、繰り返して使っていたことを思い出します。後輩の皆さん、そんな時代を忘れないで下さい。現在の整った環境には、顧問の先生、保護者の方々の目に見えない援助、支援があるからなのです。決して、自分の力だけではないのだと常に『感謝の気持ち』を忘れないで下さい。

試合に出られない方へ、あなたが毎日、シャトルを拾い、ノックをしてくれる、試合では声が漏れるほど応援してくれるからこそ、勝てるチームになるのです。まさに『一人一役』です。当時の体験は、卒業してからも決して忘れることがないと思います。現役時代は、がむしゃらに泣くまで頑張ってください。努力して下さい。

私事ですが、現在は北海道札幌で仕事をしています。全国転勤があり、数年に一度の割合で全国を転々としています。今までに体験できない地元の素晴らしい風土や歴史を肌で感じることができます。

甲子園で優勝した駒大苫小牧高校も冬場は、雪で全くグラウンドが使えない状態です。本州の学校から見ればかなりのハンデです。しかし、彼らは、いつもそれをハンデと感じてはいないのです。雪の上で、タイヤを曳き、滑るグラウンドでダッシュをするのです。物凄い体力です。一般的には、練習量が不足していると報道されていますが、決してそんなことはないのです。まさに、練習を工夫することです。

ただ、意味もなくシャトルを打っていませんか。もう一度、考えて見て下さい。そして、必ず全国制覇を成し遂げて下さい！輝かしい伝統を更に大きく育て、次の世代の後輩に引き継いでいって欲しいと思います。

最後になりましたが、当部を長期間指揮をとつ

ていただきました、高瀬先生をはじめ顧問の先生、保護者各位のご苦勞に心より感謝申し上げます。有難うございました。

竹塚 鋼(4期生)

創部 20 周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。いつも西武台の活躍ぶりには感激させられており、また私もこの一員だった事を大変誇りに思っています。

さて今の練習ではコートは何面も使っています。私が高校 1 年の時は、コート 4 面使えば多い方で、そのうち 2 面はネット代わりにヒモでやっていました。今の現役選手からしたら想像もつかないのではないのでしょうか…選手達に一言「そんな時代もあったんだ」ぐらいで構わないので、たまには思い浮かべて下さい。そして監督やコーチ、いろんな所でサポートしてくれている御父兄、OB、OG、関係者がいます。このような恵まれた環境でバドミントンが出来ると言う喜びを力に変え、今まで以上に頑張ってくださいと思います。

今日まで、全国レベルの選手が何人も出ました。実業団で活躍する選手も出るようになりました。ですから近い将来、以前に高瀬先生が言っておられた『オリンピック選手を出したい』が現実になると思います。これからはずっと西武台千葉バドミントン部の更なる飛躍を期待しています。

岩立 祐一郎(12期生)

この度は、20 周年記念誌を印刷させて頂きありがとうございます。総力を上げて製作させて頂きました。

今後も、西武台千葉バドミントン部の更なるご健闘を陰ながら、応援させて頂きます。

僭越ではありますが、私のプロフィールを紹介させていただきます。千葉の片田舎、沼南町の小中学校を優秀な成績で卒業したかったのですが、なんとか卒業し、西武台千葉高等学校に入学。ここには書ききれない波瀾万丈の高校生活を送り、卒業。後、どういうわけか、二松学舎大学に入学。すぐにこのほどお嫁さんになってもらいました奥様を GET して、卒業後、株式会社サンワ 営業部(総合印刷会社)に入社しました。

* 2007 年 3 月 記念誌赤字のため、退社かな？

小池 温子(15期生)

20 周年おめでとうございます。15 期の小池温子です。私が卒業して、5 年が経ったことで。そう思うと早かったです。

私は、卒業後、広島ガスで実業団選手として、バドミントンで頂点を目指しています！！高瀬先生と高校のときに約束した全国優勝を果たすため

に・・・

西武台千葉バドミントン部の3年間があって、今の広島ガスの小池温子があります。

社会人になり、いろんな経験をしています。高校時代に経験出来なかったことも・・・。楽しいことや嬉しいこともたくさんありますが、辛くて苦しいこともたくさんあります。そんな時、高校時代と変わらず、高瀬先生に助けを求めています。何度も何度も励まされて、涙を流しました。辛くて、どうしようもないときは、高校時代に書いていた、16冊のノートを読み返します。そしたら、初心に戻り、また頑張ろうと思えるのです。高瀬先生からの言葉を信じて・・・。

去年の11月に日本リーグが船橋であり、高瀬先生や後輩たちの前でプレー出来、応援していただき、勝つことが出来、私は今までで一番幸せだなと思った試合でした。私は、まだまだ実業団選手として、頑張っています！！

私には、高瀬先生をはじめとして、応援して下さる方々がいっぱいいるのです。いっぱい支えられています。そして、家族が温かく見守ってくれているので、広島で頑張れるのです。たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

あれから10年

星野 貴子(9期生)

私が高校3年生の時にちょうど、西武台千葉バドミントン部創立10周年のイベントがありました。

その時から10年。「あっ」という間だったような気もするけど、何もなかったわけではなくて、それなりにいろんな出来事があったように思います。4年間の大学生活があって、ひとりでカナダに行ってみたりして... 正社員になって働いて、ほんの少しの恋愛なんかもあったりして... 同期のみんなは卒業してからどうだった?? 真江ちゃんと笹村は結婚したね!! 素敵!!

私はすごい流れやすい性格で... よく言えば素直。悲しいとき、辛いときは毎週 anan を買い、江原さんの本も何冊も買って読みまくって、自分に都合のよい言葉をいつもいい聞かせる時期があったりします。信じやすい性格だからそれだけでも、ちょっとは元気になれます。でも、最後には西武台バドミントン部の人達に会いに行くことになっていました。なんか、体育館に行ってみたく知らない後輩のやっているところを見る、高瀬先生と話す、稲田先生や後輩とシャトルを打つ。そうすると、私的にはその日が充実して、帰りの車の中はひとり気持ちが上がっていて、お気に入りのJ-WAVE を爆音で流して、知っている曲なんかがかかったときには落ち込んでいたのはどこにいつ

たのだけ一っくら元気になれます。

最近、思うことは私を支えてくれる人達っていうのはバドミントンを通じて会った人達だなぁ〜ということです。中学校、高校、大学と。本当にありがたいことです。一時期、もうしばらくバドミントンやめようかなあって思ったときもあったけど、やっぱりずっと続けていきたいと心から思います。

私の気持ちの中で、卒業しても西武台バドミントンの存在は本当に大きなものです。いつまでも係わっていたいと思います。表現するのは難しいんですが、あったかいんですよね、あの集まりは。それに楽しい! 私は好きです。

インターハイに出る事を一途に思い続けた3年間。今、思い返してみると、本当によい3年間でした。ひとつのことに熱くなるって素敵だし、なかなか見つけられないものです。今の高校生、中学生はインターハイに出ることが目標ではなく、全国で勝つことが目標になっているからすごいなあって思いますし、そうした環境を築いてきた高瀬先生をはじめとするみなさんを尊敬します。先生が「野田からオリンピック選手を出す」って言うことも近いうちにあるように感じます。そのときはもちろん応援団として参加させていただきま

す。毎日生活していると楽しい事ばかりではなくて、辛いことや悲しいこともたくさんあると思います。でも、辛いことがあった次には楽しいことがあるし、悲しいことの次にはうれしいことが必ずあると私は思います。そうは思ってもなかなか前に進めないときがあると思いますが、そんな時は体育館に行ってみるってのはどうでしょう?? きっと元気出ますよ。ひとりで入りずらかったら、誘ってください。時間が合えば、ご一緒します。

いろんなことがあります、自分を含めみんなが幸せでありますように願って止みません。最後に、いつもいつもありがとうございます。みなさんには感謝の気持ちです。そして、どうぞこれからもよろしくお願いします。また10年後、西武台千葉バドミントン部がどんなことになっているか楽しみです。

選手のみなさん、バドミントン部ってすごいいいよ。そこにいとくさんの心動くもの、素敵なことがあるよ。応援してますので毎日元気に頑張ってください!!

小野塚 賢治(12期生)

20周年ととてもおめでたく嬉しい限りです。私は12期生ですがいつまでも錆びることのない最高の財産が西武台千葉バドミントン部にはあります。

がむしゃらに生きる後輩の皆と変わらぬアツイ
気持ちで私もこれから人生励んでいきます。
20周年おめでとうございます。これからも素晴
らしい伝統を共に創り続けるお手伝いできれば
と思います。

樋上 夏(18期生)

西武台千葉バドミントン部、創立20周年おめ
でとうございます。私がバドミントン部と関係
をもって4年が経ちます。

20年間を支えた大きな要素の1つには、卒業
していった先輩方の一生懸命に生きる姿があっ
たと思います。それはバドミントン部の支えであり、
私の支えでもありました。

高校3年間はバドミントン一色の生活。・・・
周りから見ればそうかもしれません。「バドミ
ントン」を頑張ろう！私も最初の1年はそう思っ
ていました。2年生の頃は勝つためにまじめにや
ろう、勝つために普段の生活もしっかりやろう。そ
して3年生の頃には、これからの自分の夢のため
に、人生のために・・・。

その背景には、夢に向かって、あるいは小さな
かけがえのない幸せを胸に、必死で生きている先
輩方の姿がありました。もちろんバドミントンも
勝ちたいと思っていました。矛盾しているよう
ですが、私はそれでいいと思っています。

大事なのは卒業して、この3年間の経験を生か
しどのように生きるかだと思います。そして、そ
んなどこかキラッと輝くバドミントン部の卒業生
を心から尊敬し、誇りに思います。

私も少しでも近づけるように、自分の信じる道
を一步一步登っていきます。バドミントン部と共
に。

(ホームページへの投稿から)

20周年記念

投稿者：5期の徳永です・・・先生覚えてるか
な？投稿日：2月13日(火)03時30分24秒

徳永 陽一さん(5期生)現在:鎌ヶ谷市消防士

20周年おめでとうございます ペコく()
私も高校卒業してもう13年も経っているんですね
()・・・ジュン 仕事に追われこの年までしまし
たが振り返ってみて、高瀬先生の元で部活に励めたこ
と今はすごく良かったと感じています(#^_^)v

当時は、よく殴られていましたよね(^-^*)
今ではそれも良い思い出となっています。あの時
に心も鍛えてもらえたおかげで現在消防士として
災害現場で踏ん張ることが出来ているのだと思っ
ています。

現役の高校生の皆さん

高瀬先生にビシビシ心と体を鍛えてもらって

ください。きっと近い将来自分の力になっているは
ずです。自分磨き・バドミントンの技術の向上と
夢中になり頑張ってください。

最後になりますが、高瀬先生20年間お疲れさ
までしたペコリ(o_)o)西武台千葉バドミント
ン部の活躍を期待しています。これからも高瀬先
生頑張ってください。陰ながら応援しています
p(#^_^)q ファイトッ！

おかDのおことば2007春

岡戸 陽子(14期生)

私は歯医者嫌い。小4の時に、忘れもしない、
ただの虫歯治療が、歯を削るだけがとてつもなく
痛かった。おまけに看護婦の(歯医者の場合看護
婦でよいのだろうか・・・)ば・・・お母さんが
めちゃくちゃ恐くて、それからというもの、歯医
者には行かなくなった。大学の時前歯を折って行
った以外は、歯医者に行くこともなく、平穏な毎
日をおくっていたのだった。

先日、歯の詰め物(?)銀のやつ・・・がとれ
た。歯にはぼっかり穴が・・・もう逃げられな
い。歯医者に行かなければ!!!一番家の近く
にある歯医者に電話。その名も日産デンタルクリ
ニック。指定された時間は10時半。その時点でお
かしいが、行くともっとすごい。まず、受付は誰も
おらず(これは多分夜だから)、もちろん先生一
人。その先生、Back to the Futureのドクミ
たいな人で、ジーンズにトレーナー、裸足にスリ
ッパ。

治療は治療でつつこみ所満載。まず、診察台は
3つ中1つしか使えない。なぜなら、うち2つは
荷物で埋まっているから。潔癖性の人ならまずこ
こでアウト。まあ、先生の格好でアウト。なんせ
マスクなしですからね。治療も治療で・・・。モ
ノを噛ませりゃ「次郎君は元気??」・・・しゃ
べらせませんか!!!うがいして、つっても綿が口
ん中入ってますけど・・・。終わりー、って前掛
けみたいの外さないの?あ、セルフなんだ!!!
治療は20分くらいで終了。治療中先生はぶつぶ
つぶつとしゃべっていた。インフォームドなん
とか!!最後におつりを間違えるという素敵なサー
ビスを提供してくれた、日産デンタルクリニック
は、川間駅、セブンイレブンそば、日付が変わ
ってもやっている。練習で遅くなくても大丈夫。

そんなこともあり、私は23歳にして10歳から
の歯医者嫌いを克服することができた。あそこの
歯医者なら週一で行ってもいいかも、とちょっと
思った。やっぱり2回、3回痛い目見たからって
人間腐ってはいけないのである。ちょっとヤな事
くらいで逃げはだめだな～、と今更ながらに学

んだのだった。まあ、たかが歯の治療をただけなんだけど・・・。

バドミントンも、みんなそれぞれきつと山あり谷ありでしょう。楽しいこと、苦しいこともあったらう。そんなことが積み重なってここも20年です。楽しいことばかりじゃないけど、勇気をだせば、苦しいことも楽しいことに転ずるかもしれない！！そうすれば、歯医者嫌いも克服できるんですから。

<http://plz.rakuten.co.jp/okadyoppjr/>

更新おさぼりブログ(携帯からも見れますヨ)

バドミントンとの出会い

鈴木 美希子(19期生)

私がバドミントンを知ったのは小学校三年生の時、私の兄が高校一年生の時でした。

私は、兄がどんな学校で、どんな部活に入っているのか、まったく知りませんでした。朝早く学校に行き、暗くなったら帰ってくる毎日だったのであまり会話もしませんでした。

ある日、部活が早く終わったのか、ご飯を久しぶりに一緒に食べました。その時に初めて西武台千葉高等学校バドミントン部だということ知りました。私は、バドミントンを知らなかったので、いろいろ質問したのを今でも覚えています。質問の後には、必ず「楽しいからおまえもやれば？」と言っていました。たぶんそれが、バドミントンをやろうかな？と思ったきっかけだと私は、思います。今考えると、あの時言われていなかったら、バドミントンに出会っていなかったと思うし、知らないままピアノでもやっていたのかもしれない。出会いというのは大切なことでバドミントンに出会ったから西武台千葉バドミントン部・高瀬先生・稲田先生・望月先生・戸邊先生・麻美さん・小林コーチ・先輩方・後輩たちに出会えたのだと思感謝し、今の人生で良かったと思っています。

今年、西武台千葉バドミントン部二十周年記念を迎え、私も高校生活を卒業し、新たな道へと進もうとしています。私は、前に高瀬先生から「スポーツ推薦でなかなか入れない大学にも簡単に入学できてしまい、バドミントンに救われている人がたくさんいる。しかし、日本のバドミントンを救っている・支えている学生は、ほとんどいない。」と、話を聞きました。私もバドミントンがなかったら、こんなに良い人生ではなかった・・・。

私もこの中の一人になってしまうと気がつきました。

日本のバドミントンを救うというのは、そう簡

単なことではありません。「バドミントンに恩返し」と言うのは変ですが、感謝の気持ちを忘れずにバドミントンを続けていきたいと思っています。

西武台千葉高校での3年間

猪瀬 裕矢(19期生)

西武台千葉バドミントン部に入って、3年間経ちました。私が高一でまず朝の部活に出た時、「おはようございます」と言って体育館に入る先輩を見て、びっくりしました。挨拶ということが良く分からない私は何でこんな大きい声で挨拶をしているのか不思議でした。中学から、私はわがままで好き勝手に挨拶もできず、先輩にも敬語を使わないことなどしょっちゅうでした。西武台バドミントン部に入り、西武台の中学生を見てこんなに違うのかと思いました。先生方や先輩方にも教わり痛感しました。中学校でやっていたことが無駄な感じがしました。

西武台でバドミントンをして思ったことはまず、バドミントンはとても深いということです。私の中では技術と体力があれば、高校では勝てると思っていましたが、それ以外でも戦術や心などがあることなど知りませんでした。高校になると中学校よりさらにレベルが上がったプレーをするためには、心、技、体、戦術を日々鍛錬することが必要です。私が足らなかったのは、特に心です。そのため先生方や先輩や、チームメイトに迷惑をかけました。

ダブルスと一緒に組んでいた瀬間には、私が学校を休んでも、何も言わず組んでくれた。でも瀬間は我慢してくれたと思う。中村には、まじめに部活に来ているのに、私がちゃんとしないうちに瀬間と組んでいるということで我慢していた。高橋には、だめだと解っているながらバドミントンも勉強も教えてもらいました。私はみんなに迷惑をかけていましたが、みんなが支えてくれたので3年間西武台にいれました。これからみんなが違う進路の道へ行ってもそれぞれが成功することを願っています。

先生方にはいろいろなことについて教えていただきました。理科の授業に出させてもらったこともあり、正直全然授業のことについては分からなか



ったけどとてもいい経験になりました。英語の授業の時は、助けていただいたこともあります。バドミントンだけではなく、いろいろな基本的なことを教えて頂きました。一番私が世話をやかせたかもしれません。すみませんでした、と同時にありがとうございました。

私の夢は介護関係の仕事についてこれからどんどん多くなるお年よりを助けられるように、バイトしてお金を貯めて介護関係の仕事に専念できるように努力します。

3年間を振り返って

瀬間 浩徳(19期生)

この3年間を振り返ると貴重な体験ばかりでした。その反面後悔も多々あった3年間でした。

1年目、まだ右も左もわからないような中6年ぶりのインターハイ出場です。初めて見た全国レベルの試合、自分とは比べものにならないレベルの高い試合とその雰囲気、今でもはっきり覚えています。2年目には、地元野田でのインターハイ、団体ではベンチ入りさせてもらい、試合に出るわけでもないのに地元の人たちが見てる中、入場するときにすごく緊張していたのを覚えています。そして西武台初の入賞、あのときの感動は特に印象深いものでした。

それから僕の代になって、一変し、先輩達と実力の差がかなりあり、去年のインターハイは相当頑張らないと厳しいと言われるぐらいの崖っぷちからのスタートでした。そんな中自分が部長になり、責任重大な役で、始めはプレッシャーばかりでかなり弱気でした。代が変わって初っ端から集合するときの先生への一言を間違えてしまい、出だしから失敗。今まであまり怒られることがなく、すぐに気持ちが折れて消極的になってしまいました。まさにマイナス思考の塊と言った感じでした。

そんな中、先生が言ってくれた一言で、「お前には、客観性がかけている。もっと頭を柔らかくし、考えてみる。」というのが、自分の中で良い方向に変わったきっかけになりました。と同時にチームの中でも活気が出てきました。

しかしストレスで胃を悪くしてからは、やっとそこそこ良くなってきたのが一気に逆戻りで、部活、勉強といろいろな面で不安ばかり感じてどうしようもなく辛かったです。ただそこで初めて普段当たり前にあることのありがたさを強く感じました。休養中に同期からもらった電話、親の気遣い、そして部活に復帰したときの練習の楽しさ、先生方の心遣い、今までに何度もそのような場面を前に経験してきたにもかかわらず、いまいち実感の湧かないのを理由になんとなくとしか考えていなかっ

た自分のはっきり見えた瞬間でした。

最後のインターハイ予選は負けてしまい、負けたとはいえ、良い終わりだったと言うようなわけでもありません。今思うと本当に後悔ばかりの連続でした。しかしこの3年間で貴重な体験もでき、自分自身のことを見つめる機会も多くとれ、西武台千葉バドミントン部に入らなかったら分らなかったことばかりでした。だからこれからは、さらにいろんなことに挑戦して、経験を積んでいきたいと考えています。

高瀬先生をはじめ、稲田先生、戸邊先生、望月先生、保護者の方々本当にありがとうございました。そして高橋、中村、猪瀬、男子のメンバーには、本当に迷惑ばかりかけてたけど本当に助かりました。3年間ありがとう。

西武台の6年間

中村 光希(19期生)

祝 西武台千葉高等学校・西武台中学校バドミントン部創部二十周年記念おめでとうございます。

私は六年前に西武台中学校に入学しました。最初は何がなんだかわかりませんでした。そんな時に高瀬先生を始め色々な先生、先輩方に暖かく迎えられるバドミントン部に入部しました。

中学では、思うように人が揃わず団体戦が組めなかったのです。私が中三の時は私の他に三人しかいませんでした。高校に入り外部から三人入ってきたのはとてもうれしかったです。これでやっと団体戦が組める、やっと同期の仲間ができたと思いました。

先生方には、バドミントンのことはもちろんこれから必要ことも習いました。この教えがなければ、今私がどうなっていたかは想像できませんし、色々なものに手を染めていたかもしれません。「返事・挨拶をする」「時間を守る」などごく当たり前のことが出来ない人がたくさんいます。これらのことを教えてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

同期のみんなにも感謝しています。共に楽しんだり、悔やんだりみんながいたから乗り越えられた壁もありました。後輩のみんなにはこれからたくさん壁に挑戦すると思いますが、先生方を信じてチームメイトを信じてチーム一丸となって頑張ってもらいたいです。これからの活躍を期待しています。

保護者のみなさんから

青木 恵子(21期生保護者)

創部 20 周年おめでとうございます。わが子が

西武台高校バドミントン部に入って一年がたとうとしています。親子共々右も左も分からずにそれでも何とか無事一年が過ぎようとしているのも諸先生方をはじめ多くの先輩方や部員の仲間そして父兄の方々のおかげと感謝しております。

わが子が自分の意思で西武台バドミントン部への入部を決めて以来毎日練習に精を出す姿は、なんとも逞しく感じます！又挨拶や礼儀正しい態度には感心させられるばかりです。素晴らしい教育の証と感謝致します。私どももこのバドミントン部の向上の為にできる限りの協力をしていきます。西武台バドミントン部の皆さんこれからもどうぞ力を合わせ、素晴らしい経験を積み重ねていかれますよう応援しています。

バドミントン部の益々の繁栄を心よりお祈り申し上げます。

秋元 正子(20期保護者)

西武台千葉高等学校バドミントン部、創部二十周年を迎えられたこと、おめでとうございます。色々なドラマがあった事と思います。

しかしながら、一部員の父兄として、まだ二年しか過ぎていませんが、息子は、利根川を渡って(遠いイメージがありますが) 隣町の岩井から、自転車で通っています。朝早く起きるのは、つらいようですが、眠い目をこすりながら学校へ行っています。実は、二年間続けられるとは、夢にも思っていませんでした。

中学のバドミントン部は、いつ消えてもおかしくない様な朝練なしの楽な部活でしたから、それが、何も知らずに西武台のバドミントン部に入部させて頂き、一転、朝練、昼練、放課後と練習量の変化に戸惑いを感じていたようでした。帰って来る時間さえわからない毎日。親としては、不安の日々が続いていました。他の選手の父兄の方は、何年か続けているのだと思うと脱帽です。

二年生になって、先輩達とのいきなりの共同生活。何も出来ないのに、大丈夫か、との思いの九ヶ月間、先生や先輩、回りの皆様のおかげで何とか過ごすことが出来ましたこと、感謝の一言に尽きます。ありがとうございました。

今は、また自転車で家から通っていますが、練習に打ち込める環境を与えて下さった先生方や、一期生からの先輩の方々、そして、保護者の皆様に感謝いたします。

これからも、色々お世話になるとは思いますが、西武台のバドミントン部の一員として、恥ずかしくない行動、そして、感謝の気持ちを持ち、願ひ続ければ叶うを、モットーに、いつも前向きに頑張っしてほしいと、願っています。

飯泉 純子(20期生保護者)

綾乃が西武台に入学し6年目、そして西武台生として最後の1年にこの20周年を迎え、意義ある年であると感じております。先生方のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。綾乃もバドミントンに巡り合ってから10年目に入りますが、まだまだ試行錯誤の毎日で、皆様に支えられて何とか今に至っております。ここ最近、自分の現実がわかるような年齢になってきたのか、私と少し大人な会話が多くなってきています。

私事の話になりますが綾乃が小4の頃のことです。バドミントン生活に少し拍車がかかりだした頃、迷いもなく西武台に進むことを決めました。何を過信してか・?そこからが親としての人生、第3章の始まりでした。時間と、経済面の確保のために、自営を決意しました。祖父も祖母も弱気を見せることなく全てに協力してくれました。大げさなようですが、これが私の人生の転機でした。

綾乃は、自分の力のなさに悩んでいる今日この頃ですが、親の私は、よき仲間(保護者)達の中で、楽しくてしかたがありません。まだ人生走り出したばかりの我が子が自分を見つめながらどんな人生を歩んでいくのか、見守るのが楽しみです。そして、西武台バドミントン部のOBも在校生も保護者も、一人ももらさず皆が希望ある人生であることは間違いなく、おおらかに朗らかに、萎縮することなく、前へ前へ進んでいってほしいと願っております。まだまだ続く西武台の歴史の為に、日々忙しい先生方の健康をお祈りしてまいります。

潮来 節子(21期生保護者)

バドミントン部、創部20周年おめでとうございます。

入部1年目の私たち親子にとっては、未経験のことも多く、驚きや感動が多々ありました。子供はみなさんのお陰で精神的にも肉体的にも日々成長し、たくましくなっていくのが感じられます。入部を希望した時の本人の意志は固かったものの本当に続けられるのか不安でした。毎日ががんばっている姿をみるとうれしい限りです。いつまでもバドミントンが好きで続けていって欲しいと思います。

先生方には本当に感謝しています。ありがとうございます。これからもOB・OGや保護者で協力してバドミントン部を盛り上げていくこととします。そのなかのひとりとして協力していきたいと思ひます。

今後も今まで以上に県大会・関東大会・全国大会で活躍できる選手が育つよう、西武台バドミントン部の発展を願っております。

梅田 明美(20期生保護者)

2年前「こんなすごい部活に入ってどうするの？実力の差はありすぎだし、頑張っても追いつけないかもしれないし、大丈夫？」毎日々有沙に言っていたような気がします。おまけに同期は全て西武台中の子達だし、大丈夫なのか？と思いながら数ヶ月が過ぎました。幸い、同期の子達はとても素直でいい子達で、すぐにうちとけてくれました。親としては今でもとても感謝しています。

しかし彼女にとっては、毎日が体力的にも精神的にもギリギリのところ部活をしていたと思います。私は何度も「やめたら？」と言ったのですが、本人は「そんなこと全く考えていない」と言って、ただ一生懸命で私も夫も様子を見ていました。

なんとか1年間頑張ったとき、高瀬先生からもらったプリントを見て親子で泣きながら読みました。先生は、見ていてくれたんだ！先生には失礼ですが、直にそう思いました。

彼女の高校生活は1に部活、2に勉強という感じですが、彼女にとって、授業では学べない大切なものをたくさん部活で学んでいます。人としての優しさ、人間関係、上下関係…これはこれからの人生において大切なものです。素晴らしい仲間に出会い、先生方・先輩方にたくさんのことを教えていただき、もっともっと人として成長してくれたらと思っています。

最後になりましたが、20周年おめでとうございます。



猪瀬 悦代(19期生保護者)

息子はジュニア・中学校とバドミントンをやっけていき、ある程度内容やレベルも、わかった気になりました。しかし、実際に入学・入部とクラブ活動に参加するにしたがって、練習内容の濃さ、技術水準の高さに私達の想像、予想をはるかに超え、圧倒されました。考えてみれば、広い地域から選抜された優秀な人たちが集まっている中からやっているので当然のことですが、こんなハイレベルなところでうちの子がやっけていけるのかと心配になりました。本人が多少遠くても、西武台に行きたいと、たっの希望でしたので、朝練、夜練と、続けていけるのだろうかかと不安続きでした

が、もう3年間が過ぎ去ろうとしているのですから、日々戦っているうちに、時間が経つのは早いな一と思っばかりです。

一時期は、体力的にも精神的にも追いつまれ限界まで来ているのも分かりましたが、どうにかこうにかやっけてきてこの間、先生方、先輩方、同期の友達には助けられ、良い思い出を作ることが出来無事卒業となりました。

この3年間、日曜、祝日、夏休み、冬休みと、毎日必死に練習に打ち込んできたことこれからの人生、大事な時間を与えてくださいましたこと、感謝するとともに、皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

浦井 玲子(20期保護者会長)

西武台千葉高等学校バドミントン部、創部二十周年おめでとうございます。

我が家では、20年前は美和も唯行も生まれていません。この子供達が縁あって西武台バドミントン部に入部して、私も一緒に試合の応援や行事に参加するようになりました。

バド部の印象は先生方や保護者会がしっかり子供達の事を考えて、応援している様子がすぐ心に留まりました。特に先生方は、御自分の時間を裂いてまでも、部活についてやしていらっしやることには、感慨無量です。技術的な事はどの学校でもご指導して下さるのは当然ですが、それ以外に子供達ひとりひとり目をむけ心配りして下さっています。時には、とても厳しく、時には、あまーく、見守り考えて下さっている様子は身にしみる思いです。私達親は、まだ子育ての真っ最中です。中学・高校生になると親の言う事は聞かなくなるのは、自然の成長段階で(だからといってほうっておくわけには行かないのですが)先生方のご指導があるから安心しておまかせしてしまっています。だから子供達は、部活・勉強と頑張っけるのだと思います。

そのおかげで西武台バド部らしい子供達になっていきます。西武台らしいとは、他のどこに行っても誇れる子供達です。今まで卒業生や先輩達の試合の応援に行っいつも感じていました。この長い年月を支えて下さった先生方の他に卒業生のご父兄の皆様の支えもあつたことも忘れてはいけません。

子供達も素晴らしい先輩方を見習い、私達父兄も今まで思考錯誤しながら継続されてきたことを、これからもずっと引き続くバド部保護者会は後輩につなげていくためにも、先生方の協力と子供達の応援をしていけたら幸いです。

祝 創部 20 周年

榎田 智子(20期生保護者)

創部 20 周年おめでとうございます。

娘共々バドミントンに関わるようになって、はや7年になろうとしています。小学生の頃、娘が泣きながら試合をしていたことを考えると、仲間とここまでやってきたことが夢のように感じられます。良い友人・良い師に恵まれ、本当にありがたいことだと思っています。朝早くから夜遅くまで生徒に関わってくださる先生のご苦労を考えると、並大抵ではないと思いますが、大したことはないようなことをさらっとおっしゃるので恐縮してしまいます。何かの折りに卒業した先輩方も加わったりすると、家族が集まったようなにぎやかさで暖かい雰囲気を感じられます。今後もこのような雰囲気がずっと続くことを願っております。

最後に、何年も飽きずにつきあってくくださった(腐れ縁?)保護者の方々にも感謝です。

大島 美由紀(22期生保護者)

今 通わせて もらっている 二人の子供達は、西武台で、バドミントンがやりたくて受験をし、バドミントン部に入る事が出来ましたが…今は、朝は「バタバタ」、夜は「グッタリ」の 毎日を送っている状態です。すっかり バドミントンが出来る事は、あたりまえの様な生活をしています。バドミントンが出来る事は、高瀬先生を始め 沢山の先生方、先輩、保護者の方々を支え続けて来てくれたからバドミントン部があり、一員に なれた事を感謝して、一日一日を大切に 過ごして行ってほしいと思っています。

出会い

大日方 きみ子(20期生保護者)

西武台バドミントン部、創部二十周年おめでとうございます。

娘が、西武台バド部と出会いましたのは、当時、小学生三年生、今から九年前になります。四期生の小林コーチが指導されている、岩名ジュニアに入会し、そこに現役の中高生の生徒さんが来てくれていました。どの生徒さんもととても礼儀正しく、爽やかな笑顔が印象に残っております。その後、娘も西武台に入学し、高瀬先生と出会い、皆様方の後輩となりましたが、先輩方からの西武台魂をしっかりと受け継いでいるのでしょうか?この二十年の時の流れの中で、生徒も保護者も変わってきていると思いますが、それでも高瀬先生は上手くそれぞれの生徒を導いて下さっておられます。有り難うございます。幸いにも娘は、バド

部の望月先生、稲田先生、戸邊先生が担任されたクラスで学ばせて頂き、もう隠すものは何も無い状態です。いろいろありましたが……。感謝しております。

娘は沢山の先輩方、ジュニア時代からの仲間、同級生、後輩、バドミントンを通じて素晴らしい出会いがあり、これからも増えていく事でしょう。出会いは偶然ではなく必然だと……。全て意味がある出会いにしていって下さいね。素晴らしい伝統のある西武台バドミントン部に出会えた事、毎日に感謝して下さい。

栗原 仁美(21期生保護者)

西武台千葉高等学校バドミントン部創部 20 周年おめでとうございます。

娘は今まさに有意義なバドミントン生活を送っています。小学時代両親が共働きをしていたせいもあり、放課後はいつも学童保育所へ直行する毎日でした。そんな時、英美里ちゃんに誘われていた川間小体育館でのバドミントンを見学に行ったのです。すぐ皆に溶け込み、苦勞することなくシャトルをラケットで拾う事が出来た事も手伝って通い始めるようになったのです。週二日の練習がとても楽しみになった頃、麻美さんから「美紀試合に出るぞー」と声がかかり、娘にとって初試合『流山市民大会初心者の部』に出場が決まったのです。美5年生夏の事でした。常盤平の横尾さんとの決勝まで進むことが出来、娘にとっては栄光の準優勝でした。それは西武台バドミントンへの第一歩だったのです。そしてそれを確定した翌年のインターハイ! 茨城県開催という事もあり、田口監督さんの車に乗せていただき試合会場へ向かい先輩方の白熱の試合を応援することが出来たのです。応援席ベンチから身を乗り出し、初めて見る素晴らしいプレーに圧倒される娘がいました。そして、それは憧れと変わり、いつかあの舞台に立ちたいと願うようになったそうです。中学への受験希望を決めたのは、その瞬間だったと覚えています。中学3年間は、基礎、基礎、基礎の毎日だったような気がします。他学年とは、かけ離れた低い実力の娘にとっては有難い練習だったと思います。茂原で開催された「千葉県選手権大会」1学年下の佐藤さんとの試合では、自身の甘さがみられ、とても不甲斐ない試合に見えました。まさに自分への怒りでいっぱいトイレで涙したそうです。

高校生になり1年が過ぎようとし、いよいよあの最終目標に近づいてきました。先輩方の努力、創意、打ち勝つ力を見習い、もっともっと精進しなければあの舞台は回ってこないのです。自分を甘えさせず、常に自分を苦しめ、これからの時間